講義名 研究演習 (商・経)	評価方法
調義コード 55406 授業形態 開講期・曜日・時限 通年 金曜日 5 時限	・ゼミ活動の参加度 ・ゼミ課題の実施度
##終二 1 30400 12条778 150400 1	・ゼミ課題の実施度
学部・学科 演習分野 マーケティング学科 物流システム論	-
1	
概要説明	
物流システム論ゼミは、「学生の研究」を「学生が演習」する、学生主導型です。 目標は4つあります。 目標は5、物流の知識を身に着けた上で、課題を解決するための思考力を向上する。 2、コミュニケーション:自分の意見を人にレッかり伝えることができる。 3、分析力: 日野・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・	教員英字氏名 研究室
	Lee Jimyoung 3506
	最終学歷
	東京海洋大学博士課程後期
	学位
	博士
	主な研究活動・社会活動・研究業績
	・国際物流とロジスティクス・海外の物流動向・買物弱者のためのロジスティクス・廃棄物のサブライチェーンマネジメントなど
	15) ph. 6*44
	趣味・特技 音楽と旅行
	所属
	商学部 マーケティング学科
主な卒業論文のタイトル - FTAが国際貿易の貨物量に与える影響に関する研究	所属学会 日本物流学会 日本海道経済学会
- FIAが国際貿易の資利量に与えるを容易に関する対対。 - 韓国のインターネットショッピングがモ配に与える影響 - 中国における王記使のサービスのあり方に関する研究 - 中国におけるコールドチェーンの発展の可能性について - 中国の貿易と海連貨物量におけるコロナの影響	日本海道経済学会
	· 中門分野
	物流、ロジスティクス、サブライチェーンマネジメント
	担当科目
教員よりの要望	・教養特議(モノの世界) ・物流管理論
学生主導のゼミです。 せ三活動を自分から提案し、実践し、皆と共有する積極性が求められます。 クラスメートの皆が、互いに発展するゼミにしたいと思います。 特に2023年は物流企業を連携して、グループワークをしますので、協調性も身につけましょう。	
ソフスメントの自か、互いに免険9gでにしていて思います。 特に2023年は物流企業を連携して、グループワークをしますので、協調性も身につけましょう。	・大学院授業など
	備考
選考方法	
・物流への興味がある人	
- 物派への興味がある人 - 基本的なマナーがある人 - 積極性とやる気がある人	実務経験の有無及び活用
	実務経験あり 物流データの分析と物流政策立案の支援の経験があります。 民間企業や政府の考え方と仕事のやり方などが述べられます。